

輝くエネルギーを育てるためにできること



毎月開催される「夢・人・未来塾」の運営委員会の様子。運営委員会には、「夢・人・未来塾」の指導者だけでなく、桂川小・東小・中学校の保護者なども参加しており、横の連絡もしっかり図られています。

安全・安心の強化

見守りボランティアへの期待

「夢・人・未来塾」では昨年より、中学校で華道塾や茶道塾を行ったり、地域の子ども会やPTAの親子活動などの要望を受けて、指導者を派遣する「出前塾」を行っています。また、季節を感じる体験をテーマとした「自由塾」では、川遊びや種イモの植え付け・収穫など、自然と触れ合う内容を実践しています。

「出前塾」や「自由塾」など屋外での活動では、子どもたちの参加数は多くなります。それに比例して、屋外での活動ということもあり、子どもたちへの安全管理もより重要になってきます。

少しでも子どもたちが安心して参加できる体制作りが、今の「夢・人・未来塾」には急務でした。

「夢・人・未来塾」の運営委員会では現在の体制をより強化し、子ども

もたちが安心して参加できるように、「見守りボランティア」というスタッフの募集を決定しました。

新たな幕開けに期待

子どもたちの笑顔のために

現在、「夢・人・未来塾」の指導者は登録制となっており、個人では33人、団体においては16組が登録されています。

新しいスタッフの募集が決まったことにより、見守りボランティアも指導者と同様に、4月以降、随時募集（※）が行われます。

これからは、指導者と見守りボランティアが手を取り合い、桂川の子どもたちと一緒に展開される、新しい「夢・人・未来塾」が期待されます。全ては子どもたちの笑顔のために…。

※申し込み方法は3ページを参照

インタビュー 「夢・人・未来塾」指導者



「子どもの想像力にはいつも驚きます」と語る永吉洋子さん（写真右）と久野義江さん（写真左）

「成長発見が大きな原動力」

自然の草花に触れ、自分の想像力で創り上げる日本の伝統文化「華道」。「夢・人・未来塾」の華道塾では、子どもたちに作品を創り上げるだけでなく、道具の出し入れなどの礼儀作法や所作を大切に指導しています。

どの課程も慣れるまでが大変なのですが、すぐに習得する子どもたちの成長には目を見張るものがあります。そんな小さな感動の一つひとつが、私たちの大きな原動力となっています。

授業後の子どもたちとの色んな会話も、楽しみのひとつ。言葉の端々にも、子どもたちの成長が感じられることもあるんですよ。

